



令和6年1月17日発行
第4号
北海道高等聾学校進路指導部

～第二回卒業生体験講話を行いました～

12月1日（金）6校時に卒業生体験講話を行いました。今年度第2回目の講師として、令和元年度に本校産業技術科を卒業し、現在は株式会社デンソーで勤務なさっている、横手友哉さんを迎え、講話を行っていただきました。横手さんからは、デンソーで担当している業務内容や1日の仕事の流れ、現在のプライベート、自身の高校時代などについて具体的にお話いただきました。働いている中で、会議中文字起こしアプリが上手く読み取れないときには自分からもう一度発言をお願いしたこと、会議の際に困っている事柄を具体的に上司に伝えたことでリモート会議から対面会議に変更してもらえたことなど、コミュニケーションの大切さと自分の困り感を正確に伝えることの重要性についてのお話がありました。

また、生徒からの質問への回答の中で、朝しっかりと起きて仕事の準備をすること（規則正しい生活リズム）、仕事でわからない時は必ず聞き直すこと、今後高校生活を送る中で特に意識すべきは挨拶であることなどが話され、進路についてこれから具体的に進めていく生徒、もうすでに決定している生徒、どちらにとっても重要な話を聞ける貴重な機会となりました。

（文責：松島）





＜生徒のアンケートより＞

- ・体力をつける必要があると思った。
- ・就職したら手話の分からない健聴者と一緒に仕事をするので、筆談や口話などの手話以外のコミュニケーション手段の力も高めておいた方がよいと思いました。(7)
- ・挨拶や資格取得をはじめ、自分の力を高めるためにできる限りの努力をしていこうと思いました。(3)
- ・デンソーの仕事内容がよくわかった。聴覚障害者への理解がある、良い職場だと思った。(2)
- ・社会に出て必要なこと、重要なことを詳しく知ることができました。
- ・横手さんの説明がとてもわかりやすく、プライベートのお話しもしてくれてとても勉強になりました。
- ・入社してから相当苦勞されていたにもかかわらず、心が折れることなく仕事に励んでいる様子を聞き、努力を惜しまずに頑張っているところが素晴らしいと思いました。
- ・「分からないまま」はNG。
- ・挨拶が大切ということ。
- ・社会人になる前に様々な人とのコミュニケーションに慣れることが大切だと思った。
- ・朝早く起きることができるようになる努力をしようと思った。(3)
- ・文章力、日本語力を磨いていく必要を感じた。より意欲を持って国語の授業を頑張ろうと思った。(4)
- ・文章力を身に付けることで、筆談したり報告書を書いたりする時に役立てることができることに気づきました。
- ・挨拶がとても大切だということがわかったので、挨拶を明るく元気に継続していこうと思います。
- ・自分のやりたい仕事ができるようになるためには、やはり学力が必要だということがわかった。
- ・雑にならないように丁寧な仕事をするのが大切。
- ・相手にわかりやすい報告をすることは、相手への思いやりにもなると思った。文章力はそのようなところにも活かされるのだなと思った。
- ・学校でのコミュニケーションと仕事上のコミュニケーションは異なり、仕事上でのコミュニケーションは難しいと思った。その練習を少しずつでも行っていきたい。